

かとう裕太新聞 9号

令和元年12月定例会 議会報告

令和元年12月香取市議会定例会が2019年11月26日から12月13日までの日程で開催されました。今定例会では35件の議案、2件の諮問について審議されました。

12月議会では台風15号、19号及び10月25日大雨による被害への対応のための補正予算が成立しました。千葉県、そして香取市に甚大な被害をもたらした災害からの復旧、復興のために、できることをしっかりと行って参ります。

かとう裕太は前定例会に引き続き、本会議場にて、12月6日に**一般質問**を行いました。また、**生活経済建設常任委員会**の委員として質疑を行いました。

世代をつなぐ
未来をつくる



コチラのQRコードから
SNSアカウントすべてに
アクセスできます



みなさんに2018年12月27日からの香取市議会議員の任期をいただいて、1年が経過します。

次の1年もみなさんの声を行政に届けるために精一杯尽力させていただく所存ですので、活動をチェックしていただければ幸いです。

災害対応の46億200万円を含む補正予算が成立

補正後の一般会計歳入歳出予算の総額を**366億6,023万円**とする補正予算が成立しました。補正前の320億604万円から増額した46億5,419万円の内、**46億200万円が災害対応**に関するものとなっています。

補正の主な内容は、災害対応では修繕費や復旧費、倒木撤去費、ごみ処理費や被災した住宅や農業等の産業への支援等となります。

災害対応以外では、わらびが丘小学校整備事業や空き家対策のための相続財産管理人の選任、インバウンド対応のための複数言語に対応した観光案内看板の設置、佐原駅北口バス停用地の測量等が補正の主な内容となります。

災害対応もありますが、引き続き財政の効率化を求めて参ります。

令和元年度香取市市民事業仕分けが行われました

2019年10月19日、20日に**令和元年度香取市市民事業仕分け**が行われました。今回は無作為抽出された2,000人の中から**130人の市民判定人の方々**が参加され、36の事業について判定されました。

仕分けの結果は、**不要・凍結が2件、要改善が26件、現行通り・拡充が8件**となりました。

今後の流れとしては、市民判定人のみなさんの評価を踏まえ、**令和2年度の当初予算編成案に反映**させていくということです。

来年2月には事業仕分け結果の予算案への反映状況も公表される予定で、**3月には香取市議会定例会で予算案の審議**もなされますので、引き続きチェックして参ります。

討議資料

12月議会で決まったこと・これから変わること

討議資料

■放課後児童クラブが開設されます

佐原第5児童クラブ(佐原小学校内)、**わらびが丘児童クラブ**(わらびが丘小学校内)が新たに開設されます。

■わらびが丘小学校スクールバス購入

令和2年4月に開校する予定のわらびが丘小学校の**スクールバス4台**を購入します。

■観光案内看板の多言語化

令和元年度6月定例会での**一般質問**において要望した、**観光案内看板の多言語化(誘導案内看板・山車会館案内看板)**が行われます。

■みずほ台団地汚水処理施設を市に移譲

■橘ふれあい公園の用地取得が完了

■水郷佐原あやめパークの指定管理

水郷佐原あやめパークの指定管理を水郷佐原観光協会が行うことになりました。

■遊休資産の利活用が進みます

旧佐原第五中学校特別教室棟の一部を農作物選別場として利活用するため、**建物**を**無償**、**土地**を**有償**で貸付けます。

■地域活動支援センターの民間移譲

香取市地域活動支援センターおみがわ・あけぼの園・第2あけぼの園を**民間移譲**するため、**建物**を**無償譲渡**、**土地**を**無償貸付**します。



Topics

■全国各地の先進事例を学びました

10月には生活経済建設常任委員会で**新潟県新発田市**(食の循環)、**胎内市**(工場跡地への大学誘致)を、11月には会派**是々非々**で**島根県出雲市**(観光政策)、**海士町**(若い世代が集まるまちづくり)を行政視察させていただきました。各地それぞれ工夫したまちづくりをされており、大変参考になりました。

また、**若手市議会議員の会**では**東京都**(オリンピック・パラリンピックの準備状況)、**日本テレビ**(新元号報道)、**浦安市**(統合型GIS・市民参加型介護予防)を視察させていただきました。

慶應義塾議員連盟では**石破茂衆議院議員**、**浅野史郎元宮城県知事**のお話を伺いました。

学んだことをしっかりと香取市の市政に反映できるよう活動して参ります。

香取市議会議員
加藤 裕太

コチラのQRコードから
SNSアカウントすべてに
アクセスできます



世代をつなぐ

未来をつくる

連絡先 かとう裕太後援会
〒287-0003
千葉県香取市佐原13340
電話 070-4168-1635
メール mail@yutakato.jp
web https://yutakato.jp/

2012年、香取市総合計画(後期基本計画)審議会委員として香取市のグランドデザインづくりにかかわる。佐原青年会議所での活動や行政書士の仕事を通じて、行政に若い世代の声を届ける必要性を痛感。若い世代の意見を反映できるまちづくりを目指し活動中。



かとう裕太の一般質問

●かとう裕太の質問

1. 令和元年台風15号、19号及び10月25日大雨への対応について

■**台風15号**では、多くの地域が**長期間停電**し、**携帯電話の基地局**や**防災行政無線**の機器などの**電源が失われ**、**情報の発信、受信が困難**になりました。情報が伝達されないという市民のみなさんが不安に思うことも多くなってしまいました。**安心安全の確保**のために、**複数の、様々な手段で情報発信、公開**を行い、**情報を伝達**していく必要があります。Q.台風15号の際、どのように情報発信したのでしょうか？
Q.防災行政無線の電源は**発電機**で確保可能ですか？

■**災害時**には**情報発信**の方法、手段を多様化させるために、SNS、特に**twitterの利用**が、情報伝達**スピード**や**拡散力、正確性の確保**といった面で効果的です。今回の災害でも、県内54市町村のうち、私が確認しただけでも**36の自治体**が、公式アカウント等を通じて災害情報を発信していました。また、私がSNSで防災情報を発信していても、香取市としてSNSで災害の情報を発信すべきではないのか、なぜやらないのか、といったご意見を多くいただきました。Q.私は**3月定例会での一般質問**でも伺いましたが、情報発信、公開の手段の拡充として、防災専用のアカウントの開設など、**SNSの利用**は検討されないのでしょうか？

■**避難勧告**発令後、香取市に関して**不確実な情報**が拡散している恐れがあるとの注意喚起がありました。Q.市ではどのような不確実な情報を把握されていたのでしょうか？また、不確実な情報の拡散に対しての対応は？

■一連の災害で**香取市の産業に大きな被害**が発生しました。特に農業への被害が大きく、国や千葉県、そして香取市のしっかりとした支援が必要だと考えます。Q.香取市としては**農業への被害**に対して、どのように**対応、支援**をしていくのでしょうか？
Q.**観光産業**にも影響が出ていますが、今後の対策は？

■**災害に便乗した犯罪**や**悪質商法**による被害の発生も懸念されます。香取市でも防災行政無線等で注意喚起をしてきたと思います。Q.災害に便乗した犯罪等の被害は発生したでしょうか？

■**台風19号**の際、対象地域に**避難勧告が発令**されました。たくさんの方々が避難し、**満員になって受け入れができなくなった避難所**もありました。なんとか避難所へ行ったのに、満員で入れずにまた別の避難所へ行かなくてはならないというのは、とても**危険な状況**だと思いますので、スムーズに避難できるようにする必要があります。Q.**満員になった要因**はどう分析されているのでしょうか？
Q.**避難所の定員**は香取市全体でどれくらいでしょうか？

●答弁

A.各避難所に**市ホームページ**の災害情報の印刷したものを掲示したほか、ホームページを閲覧できる方に対して、「**ホームページが閲覧できない人に教えてあげてください**」という周知を行った。このほか、停電が長期化した地域に**スピーカー付の広報車**を巡回させたり、**自治会長や民生委員へ安否確認等**をお願いしたり、消防署や消防団へ要請をし、**地域への情報提供**を呼び掛けた。

A.防災行政無線屋外子局は、**内臓バッテリーで48時間から72時間運用可能**だが、現状の施設では、**発電機等からの電源確保は改修工事が伴い運用面から難しい**。今回の事案を基に、メーカーとも協議をして対策が図れるか検討する。

A.現在、広報かとのフェイスブックアカウント等、商工観光課や農政課で目的に特化したアカウントを持っているが、**防災専用アカウントはない**。今後SNSの活用について関係部署と協議をしていく。

A.不確実な情報として、「利根川が決壊した」、「佐原のヒーローが水没した」、「小見川カインズが水没した」、「横利根が氾濫してアピタが水没した」等の情報が市民から寄せられたほか、ツイッター等で確認した。対応としては、**香取市ホームページのトップ画面と、フェイスブックで注意喚起**をした。

A.香取市としては、被災農業者の皆様の1日も早い復旧・復興に向けて、国・県の支援策と同様、鋭意、支援措置を講じる所存。具体的には、対象経費に係る農家の皆さんの負担が軽くなるよう、**国・県の支援措置へ上乗せ**し、実施して参りたい。

A.**9月の観光入込客数**が昨年度から**6万8千人減の33万5千人**となった。風評被害を払拭するため、**インターネットやSNS等を活用し、安全性をPR**するほか、目を引く観光情報の提供に努める。

A.香取警察署によると、「**相談等はあったものの、被害の発生は認知していない**」とのこと。引き続き広報紙や防災行政無線で注意喚起をしていく。

A.避難勧告の対象人数が**約48,000人**であり、**収容可能人員を上回ったこと**や、これら**避難所以外への避難**について、十分な対策がなされていなかったことが要因と考えている。
A.市内の避難所の収容人数の合計は、**9,400人**。今回の**利根川の洪水**の場合では、**5,125人**。

Q.**全人口分のキャパシティはないので、企業や団体、市民のみなさんに協力**を求め、**安全に避難できる場所**を増やしていく必要があると思いますが、いかがでしょうか？

■今後発生するかもしれない災害へ備え、**避難所での人権や個人の尊厳を確保**するための最低限の基準として定められた、**スフィア基準**という国際的な基準等も参考にし、**避難所の環境改善や機能強化**が必要だと考えます。Q.避難所での**プライバシー確保**のための方策は？
Q.避難所のトイレの数は十分でしょうか？

■**香取市地域防災計画**では、避難所での要配慮者や女性への配慮、ペット対策等についても触れられています。Q.現状では女性や子育て家庭に配慮した避難所運営が徹底されていないことから、国は指針を改定する方針です。香取市の避難所には女性に配慮した**着替えスペース**や**洗濯物を干す場所、授乳室**等は確保されていますか？
Q.避難時の**要配慮者**への対応は？また、**福祉避難所**は今回どれくらい利用されたのでしょうか？
Q.**ペットと一緒に避難できない**ため、避難しながらもペットのことが気になりストレスを感じる方もいらっしゃるようです。香取市に**ペットが避難できる避難所**はありますか？

2. 香取市三十歳の成人式について

■私も2年前、30歳の時に**三十歳の成人式**に参加させていただきました。私も含めた参加者のみなさんにとっては大変充実した時間だったと思います。こういった機会は、**若い世代**が香取市に帰ってきたり、香取市に居場所を見つけたりするひとつのきっかけになりうると考えます。今後も対象の方々が望むのであれば継続していってほしいと思っています。Q.これまでの**開催状況**はどうなっているのでしょうか？
Q.**香取市**としてはどのように**関与**しているのでしょうか？
Q.今後も継続して行っていくのでしょうか？

●かとう裕太の意見

■災害時の**情報発信手段の多様化**と**避難所の環境改善**を災害時には**正確な情報**が得られるかどうかで**生命、身体**の**安全の確保**にも影響が出ることが考えられるため、行政としては普段以上に**情報の発信、公開が重要**になります。正確な情報を迅速に、広範囲に伝えるために**災害情報等の発信の方法、手段を多様化**させていろいろなルートから情報を伝えるということが非常に重要になります。そのための方法のひとつとして、**twitter等のSNSの利用**が有効だと考えます。
今回は**台風19号**の際に**不確実な情報**が拡散されてしまいましたが、これもSNSが拡散の原因のひとつになったと考えられます。それに対して、**香取市公式のtwitterアカウント**などで正確な情報を広めていただければ、**混乱を小さく抑えられる可能性**があると考えます。**SNS等**はどこか別の空間の話としてとらえるのではなく、**直接の会話などに近い、リアルな情報伝達**の場としてとらえて活用していくことが重要になります。
また、ますます激甚化し、いつ襲ってくるかわからない災害から**生命、身体**の**安全を確保**するためには、**避難に対する意識の改善**が必要だと考えます。今までの想定を超える災害が

A.避難所拡充に関しては、今回も「かりんの湯」「千葉桜の里ゴルフクラブ」「小見川東急ゴルフクラブ」等の**企業・団体から協力や避難者の受入れの申出**をいただいた。実績も踏まえ、検討したい。

A.プライバシーの確保等、避難所の環境整備について、今後、市民や避難所従事者の意見を聞き、課題・問題点の抽出を行い対策を検討する。

A.内閣府のガイドラインでは、トイレの個数は発災当初は50人に対し1基。現在の収容人数での算定では、**現状の個数で対応できる**と考える。

A.現在、**女性に配慮したスペースは確保されていない**が、設置箇所の検討を行っていきたい。

A.避難者の状況に応じ、一般の方と**居場所を区分**している。一般の避難所での共同生活が困難な方へは、**福祉避難所**を開設し対応した。台風15号では18名、19号では4名が利用された。

A.現在、ペットの受入れができる避難所はないが、**市内動物病院等と協議**をし、検討を行っている。

A.平成29年度と今年度の2回開催され、**平成29年度は240名、今年度は221名**が参加した。

A.「香取市」等の**後援名義使用の承認**や、実行委員会に対し50万円を限度とした**補助金交付、対象者の抽出等の作業の補助**を行なっている。

A.実行委員会の組織は、当該世代の自主性に任せている。**実行委員会が組織**された場合、**継続して支援**を行っていく予定。

頻発する今日では、**災害発生前に早め早めの避難**をすることが重要になっています。それに伴い、**避難所の環境改善や機能強化**が急務だと考えます。
避難所は窮屈でプライバシーも確保されていないから避難したくない、といったような印象を打破し、**避難所も悪くないかな**、あの**避難所に行けば安心**だな、と思ってもらえるような環境を整えなければ、いつまでも**想定外の災害に対応できない状況**を繰り返すことになってしまうと考えます。そうならないために、私は引き続き行政に対し提言を続けて参ります。
香取市議会議員として活動を始めてから1年が経過しました。まだまだ未熟ですが、今後さらにみなさんの声を行政に届けられるよう活動して参ります。

詳細は 公式サイト 香取市議会録画中継
https://yutakato.jp/ https://bit.ly/2SqxDhh

